

本草圖譜

芳草部

五

農務商省
圖書
第 二 六 六 號
共 六 冊

大政官文庫
和書門
一〇三七
函架
六冊

內閣文庫
和書類
一〇三七
函架
九冊

內閣文庫	
番號	和 11037
冊數	6 (5)
函號	196 193

本草

第 二 六 六 號
六 冊 函 架



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



本草圖譜

卷之九目錄

芳草類

上

當歸

ひませう

一種

草當歸

一種

大葉川芎

藁本

かさねち

徐黃錄附

すかせう

蜘蛛香

だけせう

一種

芳藟

伊吹當歸

とびるかつら

蛇牀子

とまねんちん

一種

和産

一種

伊吹せう

白芷

まろいんさ

二

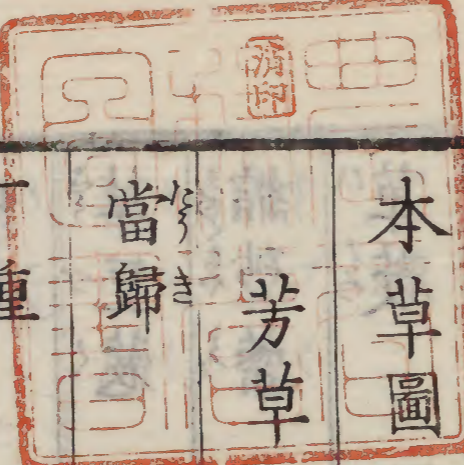
二

六

六

八

十



本草圖譜 卷之九目錄 一 藟園月載

本草綱目 卷之九 目錄 二 藺園胡藿

芍藥 多ひすき 十一 一種 山芍藥 十二

牡丹 ふかきき 十三 木香 ねんろま 十四

甘松 多ひで甘松 十六 一種 葉甘松 十六

廉薑 かんせきらん 十七 杜若 青のなまなけん 十八

山薑 ともめうか 十九 高良薑 今なけん 二十

草豆蔻 廿一 白豆蔻 廿二

縮砂密 廿三 益智子 廿四

草菱 廿五 蒟醬 きんま 廿六

一種 一種 細長葉の物 廿八

肉豆蔻 廿七 一種 廿八

補骨脂 廿九 薑黃 三十

鬱金 卅一 蓬莪朮 卅二

荆三稜 卅三 一種 卅四

一種 一種 莎草香附子 卅五

一種 一種 水莎草 卅六

一種 一種 卅六

本草綱目 卷之九 目錄 二 藺園胡藿

一種

一種

かろげん

廿七

一種

廿八

一種

一種

廿九

一種

卅五

一種

卅六

一種

一種

卅七

一種

卅八

一種

卅九

一種

四十

一種

卅一

一種

卅八

一種

卅二

一種

卅九

本草圖譜卷之九

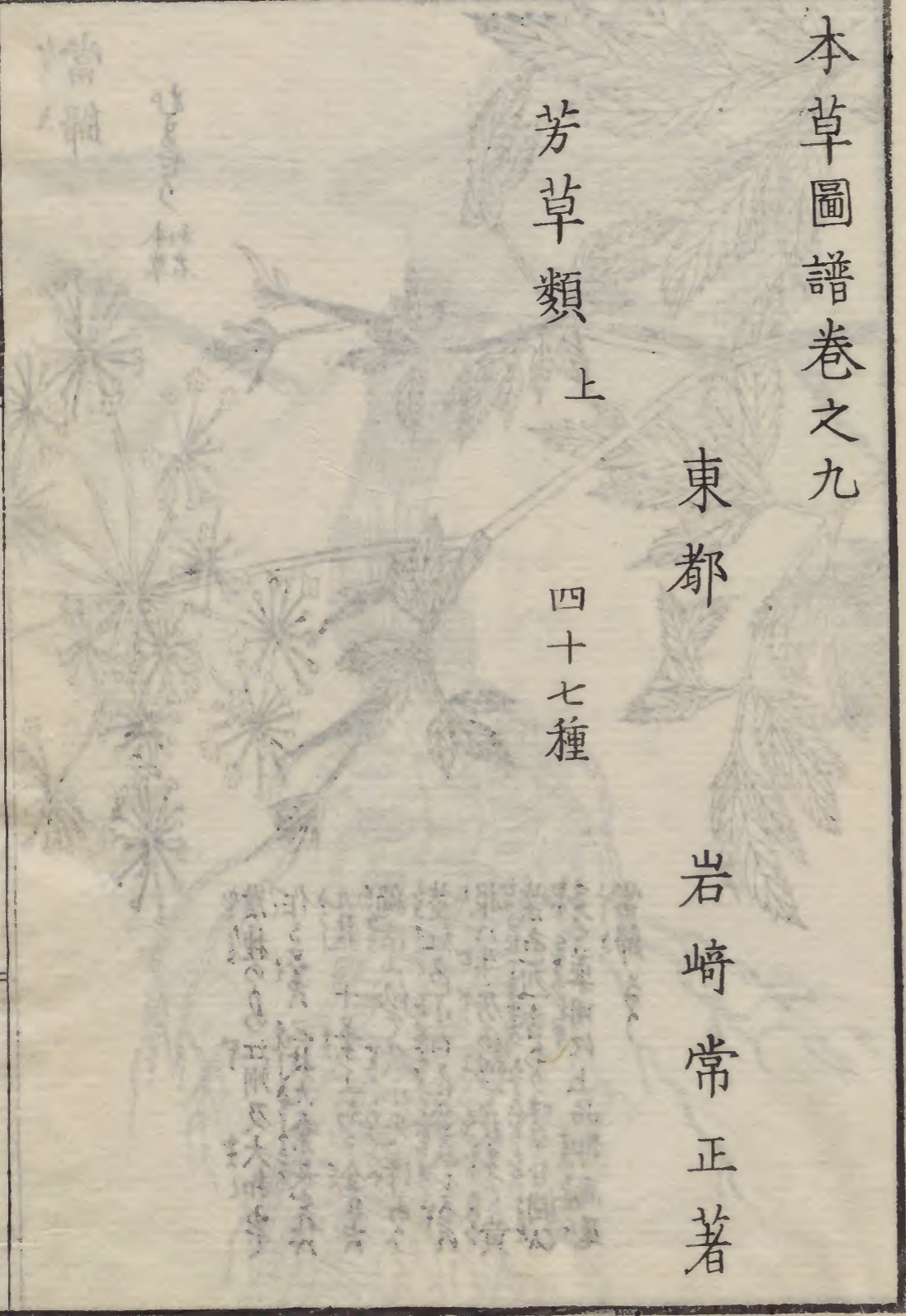
東都

岩崎常正著

芳草類

上

四十七種



本草圖譜

卷之九

岩崎常正著

當歸

むまぜり 和名



漢種のめ江州及大和にて
作る葉三枚九葉長九ハ
九枝三十葉又ある全葉あり
獨活に似て枝小光澤あり
莖紅く小白花傘状を有る
根ハ牛房小似て枝多く黄
紫色色烈香あり味辛甘潤ハ
多く薬用に上品即馬尾
當歸あり



本草綱目

卷之九

當歸

澤園階菴

一種



江州伊吹山に生ずるあり伊吹
 當歸と稱す常州筑波山にも
 自生あり花白色形状漢種に
 似て瘡癩根枝少く洞少
 る時珍云鏡頭當歸なり

一種



葉三枚九葉を多し羌活葉に似て
 小く根黄白色香味薄さりのあり
 これ弘景の說さる所の草當歸なり

本草綱目
 卷之九
 伊吹當歸 草當歸
 三
 濟園陽藏



芳藟

とむまのら

本草
和名

諸國に産す。大和國後之庄に上品と云ふ
 事あり。水竹に似たり。大に産す。高十三四
 尺。小に産す。根を掘りて。皮を剥ぎ。肥
 地に栽す。その葉は。開くと。多葉。色は
 緑なり。根は。白く。皮は。黒
 褐色。肉は。淡黄色。烈香あり。葉は。



芳藟



一種

大葉川芎と呼ぶ葉の白芷に似て
 狭尖枝曲る莖さ二三尺小白花
 傘形花を根の芋の如くおて圓く
 扁味辛く少く苦一先輩弘景の説の馬銜

蛇床子

七葉のあんざん

武洲洲崎下総行徳
 及諸國の海濱に生ず
 形珊瑚菜に似て葉に
 似て少く光澤あり苗葉
 地を掘り莖長二尺餘
 小白花傘形花をちて
 芥花に似たり實米粒の
 如くおて條理あり



苦辛く
 七葉のあんざん
 との氣味形状異なり

大葉川芎 蛇床子

藜本

かさもち 本草
和名



漢種のり處あり
葉の形川芎に似て尖り
るく圓ありて莖紫赤
色微毛茸あり莖高
三四尺梢小白花傘
形状とる實圓して
胡荽子に似る根數
條あり香氣あり



藜本

一種



和産ハ武州多摩郡山野稀ニ
 あり莖高三三尺淡紫色の穢
 筋あり葉はく漢種より大なる
 根白色にて細く香氣薄し



葉本

徐黃錄

すかせり

勢州鈴鹿山に産す。由名す。葉本も云宿根。うろ生。花
 葉大。葉小似て。尖。莖細く。紫を帯ひ。高さ二四尺。花
 白色。又芳。葉似。勢州。人食用す。根。葉本。似
 似て。香氣あり。味甘。



本草綱目

卷之九

徐黃

七 澤園附錄

一種

シラネ

江州伊吹山に産す 鈴鹿の一種にて葉粗く大なり



本草綱目 卷之九 澤蘭 伊吹 七 澤蘭

蜘蛛香 だけせり

處々山野にあり宿根あり
生ず初はの葉は細く長き
三枝九葉をさして皆歸より
あらく薄く茎紫色なり
二尺をうろ根
小塊ありて
粗鬚あり
かたうも
形蜘蛛の
如し良香
あり



蜘蛛香





白芷
よろい

漢種の物上品なり
葉の毛活ふ似て狭く
微粉緑色茎節の四
五尺稍小白花傘状を
うごき實は獨活子に似て
二片相合盧頭の處紅
紫色根の形毛活ふ

アングリカ 和蘭



似て頗小く淡黄色烈
香あり和厚物の形状
浮腫ふ似て根上紅色
あく根色黄白色と氣
味薄し

白芷

芍藥

芍薬 芍薬 式 延喜



知孝寫

芍薬

一種 芍薬



一種 紅花の物

和産自生より野州信

州及諸國中なる葉
芍薬は似て圓くありて
淡緑色高き二三尺
梢に五瓣白花を開く
淡紅花あり其秋熟す
房裂れて種實あり其
形錫杖に似るも信
州にて山をなすものと
よも根漢種の物に似て
外皮白色肉灰色を帯て
氣味腐く崔豹古今
注云草芍薬なり



實

山芍薬

牡丹 本名

牡丹の牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

本經の牡丹は即ち白牡丹也。和名牡丹。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

開封府謙子。百兩金園八山草部不出。草木部出。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

丹初漢名也。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

為名牡丹。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

聞山堂群考云牡丹。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

自隋以來之十集中無。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

牡丹詩及險隋朝花。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

藥中所無也。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

後漢の説も牡丹。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

後漢の説も牡丹。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

後漢の説も牡丹。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。

後漢の説も牡丹。牡丹は牡丹の牡丹を指す。牡丹は牡丹の牡丹を指す。



ペオニア ビュタン 羅甸

知孝寓

木香

木香

アランツ

ウラルトル和蘭

香櫛の物山城丹後等にて作る今處々多し其葉紫莖不似て長大淡綠色背の
 白色を帯ふ莖高さ五六尺花黄色旋覆に似て大なる根の薊根に似て枝多く肥大
 あり大なる圍り三四寸に至る稍香ありて辛味ありとも苦味薄し其舶来木香の如
 き切らず食れども蕪頌の説は葉似羊蹄而長大花如菊花といふもの即是なり但
 氣味は土地に從てある處々なり



本草綱目

卷之九

木香

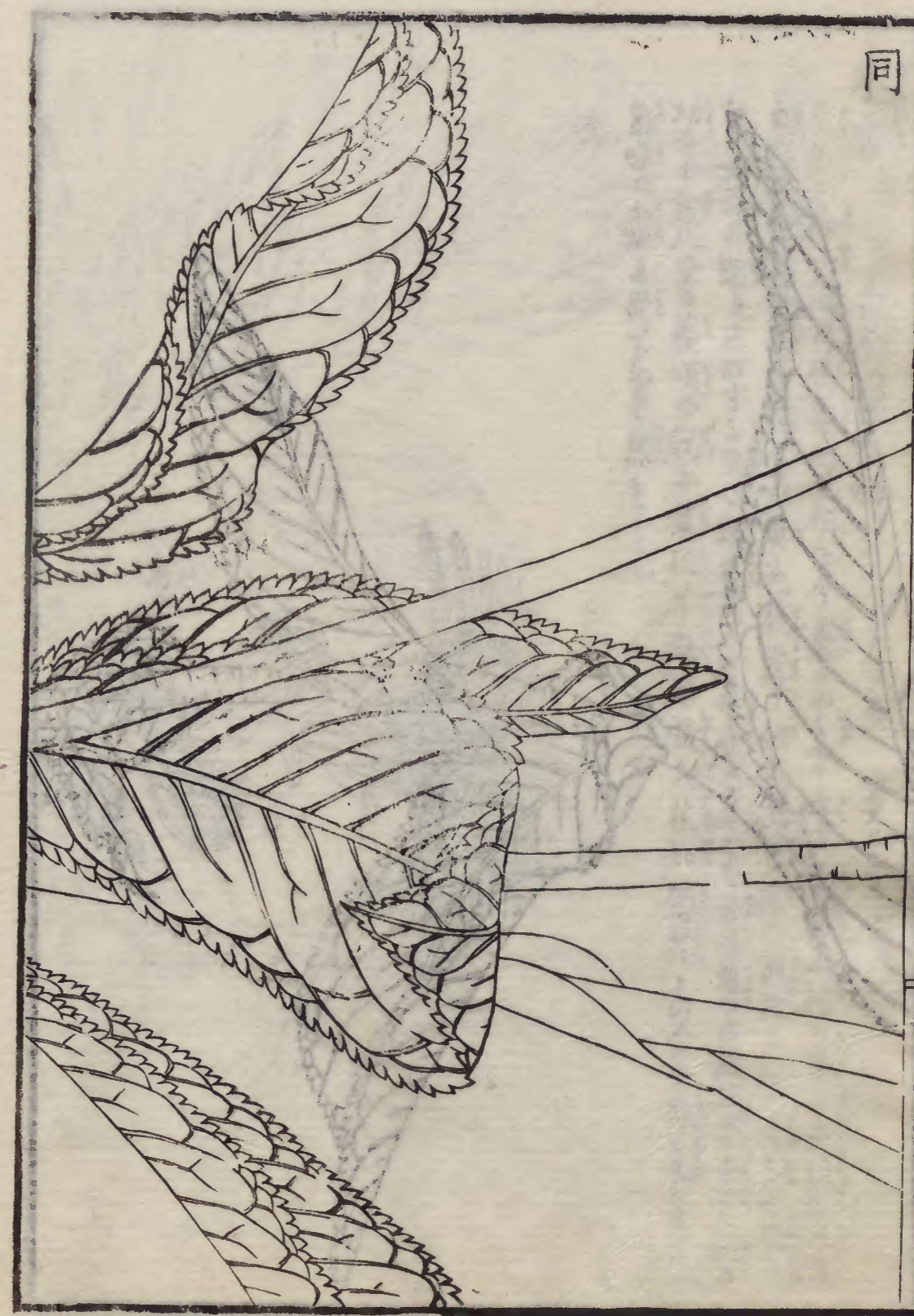
十一

澤蘭

木香



同



甘松

スピカセルナカ 蘭

舶来の物を葉甘松と云
相産する物印忙の圖るる
大さ二寸餘ありて細葉を
集たるを赤褐色香
氣あり



一種

スピカインギカ 蘭

舶来の物をあひて
甘松と云同上の圖
るる和産する根
長ふして鬚ありて
根の形をあら上品
なり





廉薑

かんざきん

和俗錦雞蘭ともいふ人家稀に植冬洞の葉の白皮より似て短く又杜若の青の葉は苗の
 似て潤く淡黄色の斑点あり故に又かんざきんといふ根の傍に一莖を生ず高さ二尺
 寸許梢に五七葉あり形白皮の如く似て黄色なる根一年一塊を生じ形廉に似て緑色
 多く連生し根味辛くと番椒の如く此物袖田氏の説に宛州山中亦自生ありて俚民
 根を採りて煮て菜に加へ香味を助く辛くと氣香く蕪菜に似たりといふ



廉薑

杜若 とさく あまのふまたけら



長崎の和の
高良薑云
状ふまたけら
似て高三尺
形も高良薑
香あり根黄
有文理根似
高良薑而細
味辛香と云
又廣

杜若の根は
白く細く
葉は長卵形
花は白く
五月に開く

東新語小解草果人多推以為香料蓋即
杜若非中草果也其苗似縮砂三月開
花作穗色白綴紅五六月子結其根勝於
葉味辛以温能避瘴氣と云是あり先輩
かきつたこ又やめうか等を充るは皆誤り
別ふ委き考あり



杜若

山薑

イネアゲツガ



つぎうたな 高田郡及勢州紀州縁
別駿州等小産及葉の背裏
似て微毛あり葉紅紫色也

一尺餘冬凋まじ 茎開小花を
開く形もまたつらふに似て短
小紅色なり 實圓して紅し
根ハ薑に似て細く硬し



高良薑

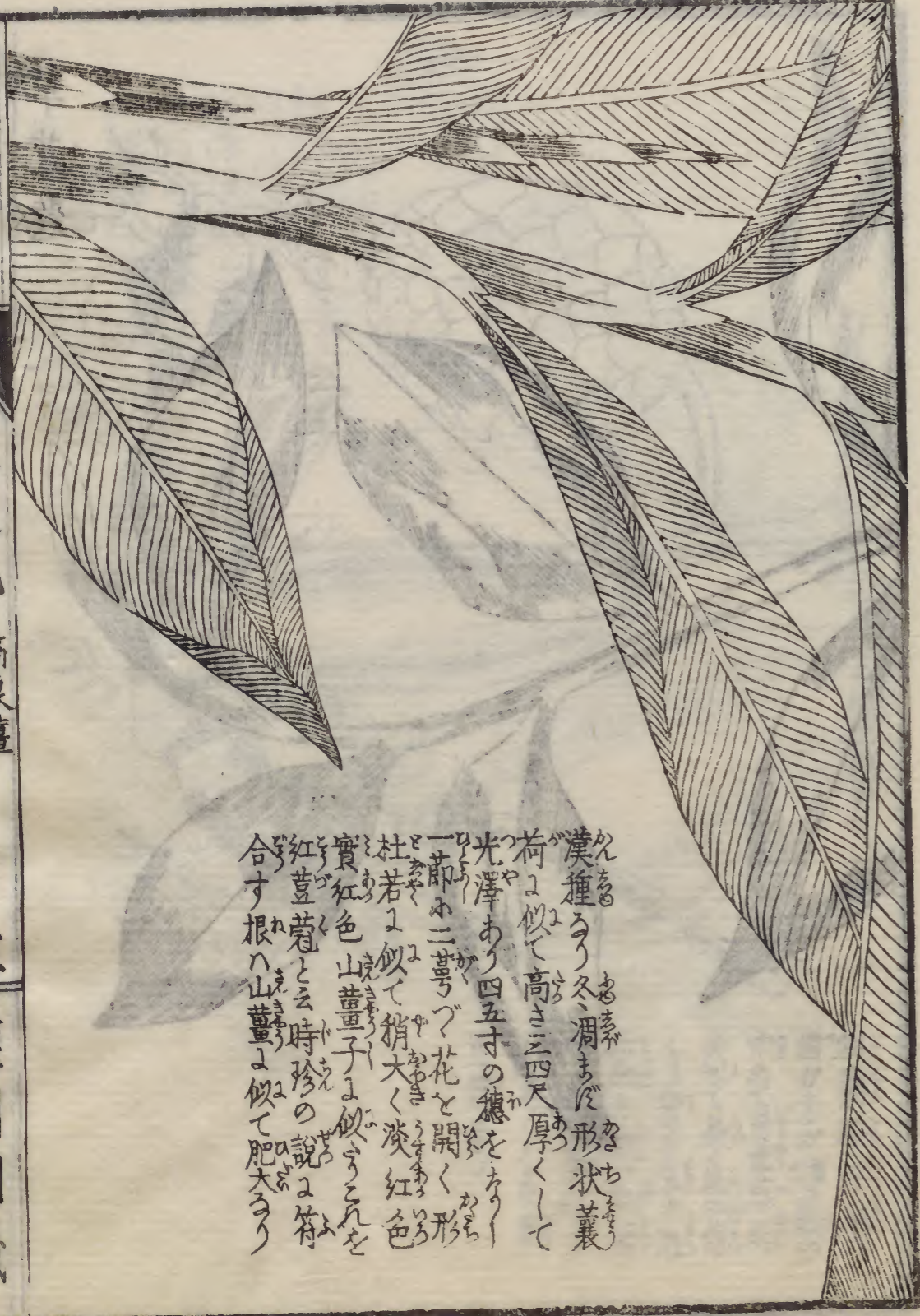
くまたけらん

ガラガ 和蘭



此種は冬凋まは形状葉
漢種より冬凋まは形状葉
荷に似て高さ三四尺厚くして
光澤あり四五寸の穂をたう
一節に二葉あり花を開く形
杜若に似て稍大く淡紅色
實紅色 山薑子に似るを
紅薑葱と云時珍の説は符
合す根ハ山薑に似て肥大する

高良薑



草荳蔻



和蘭物印滿の
圖ガランが羅の類の
中めて苗葉萎萎
少似て長く根の傍
より實を生ト形
松毬の如く根横
行し良薑に似る
ものありと云草
荳蔻あり

草荳蔻



白荳蔻

和蘭物印滿の圖
カランの類の中を
苗葉黄精に似て
長く末に穂を生ず
白花を開くものあり
れ白荳蔻あり



實の圖
宇多川榕菴寫



縮砂密

カルダモミニユマニス 蘭



和蘭物印滿の圖其形木の様めて枝を分葉狭長実下垂して赤黒色なり然れども本草綱目も縮砂益智とも草本ると云ふ合されハ此

縮砂密



つえ 圖信トがさるれども西洋の古圖更姑くあふ載

益智子 一 カルダミニユミニユス 蘭 荷

和蘭物印滿の圖る和漢
とも生物を目撃する
己る物る形状縮砂不似て
葉稍小く實も又小なり



榕按ざる縮砂益智とも小物印
忙載さるの圖説よれが喬
木あり又西洋後世の諸書を致す
草本るの漢人説とるよ吻合
す然れども其寫真の圖を得
ざれば姑く古圖を舉ぐ



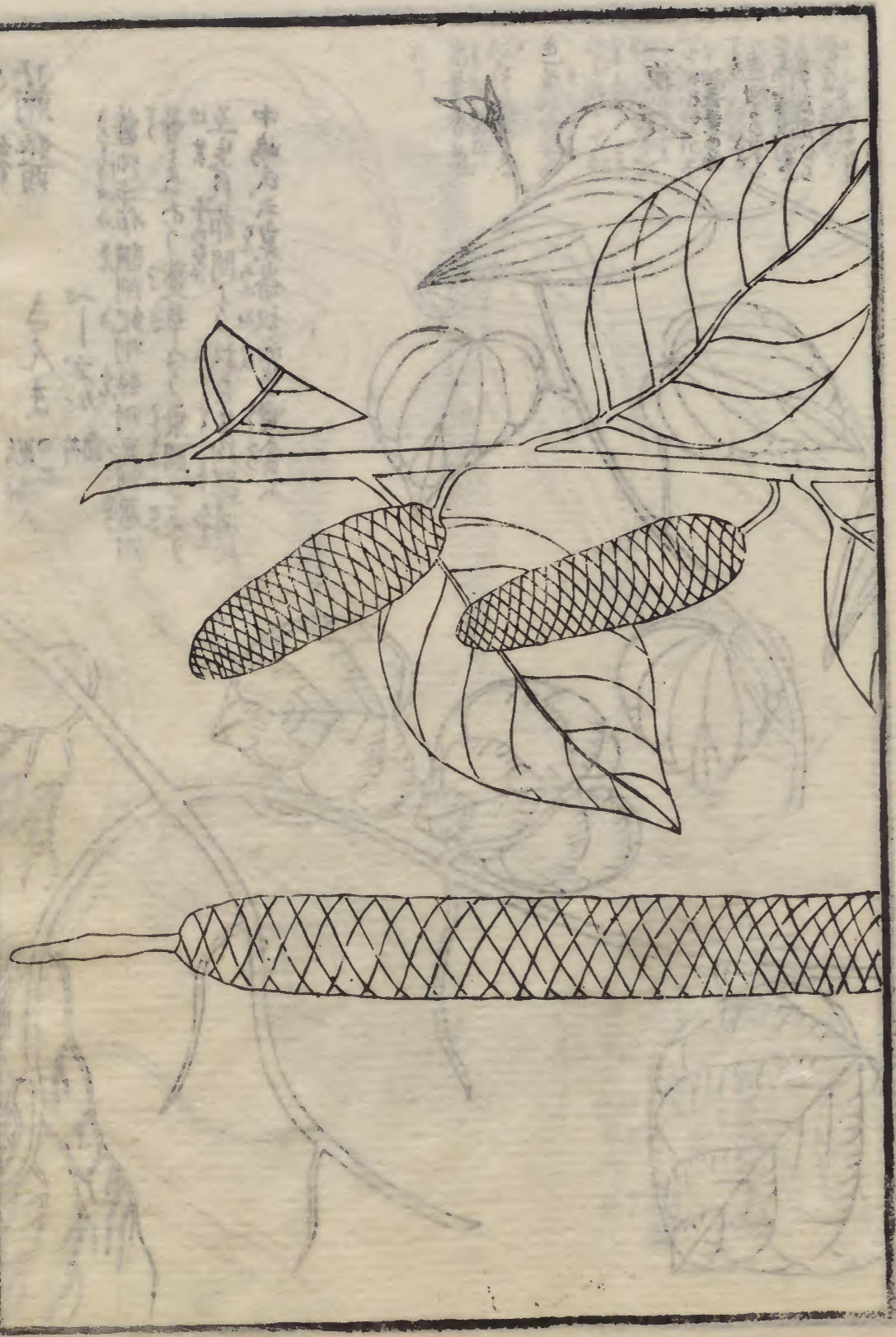
益智子

草菱

〇 胡椒

蘭

和蘭物印満の圖う胡椒の類ゆて實長きものあり蕪頰の説は七月結子如小指大長二寸已來青黒色類柶子而長とのふ符合す



本草綱目

卷之六

草菱

十一

胡椒

瓜 瓠

きんまの 瓜 瓠

薩州土佐 瓠州 瓠州 瓠州 房州 等々あり 蔓草なり 葉圓して尖り 五生 節間より 根を生じ 四時 滴は 中嶋氏云 昆崙 奴常 嚼食す



一種

細葉の物 薩州より來り 葉の形 瓜の如し 北の國に 生ず

一種

瓜 瓠 志州より 自生あり 葉圓して 潤く 細辛の如く 中厚し

瓠の花あり 葉間 穂を 下垂し 細葉あり 子許り 白花を 開き 小圓子を 結ぶ 熟して 紅色 氣味 莖葉 似たり 此類を 莖葉香氣あり

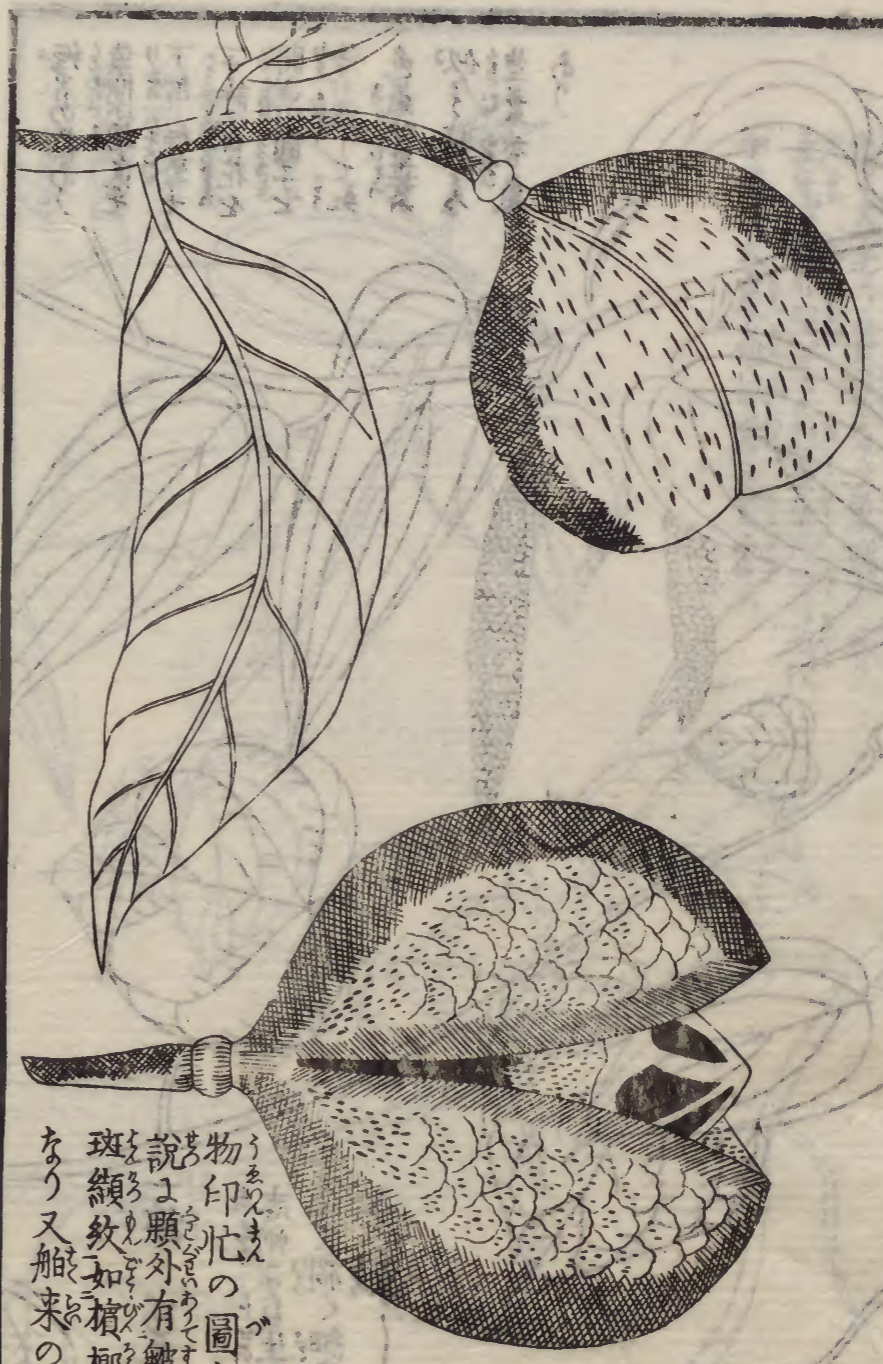


瓜 瓠

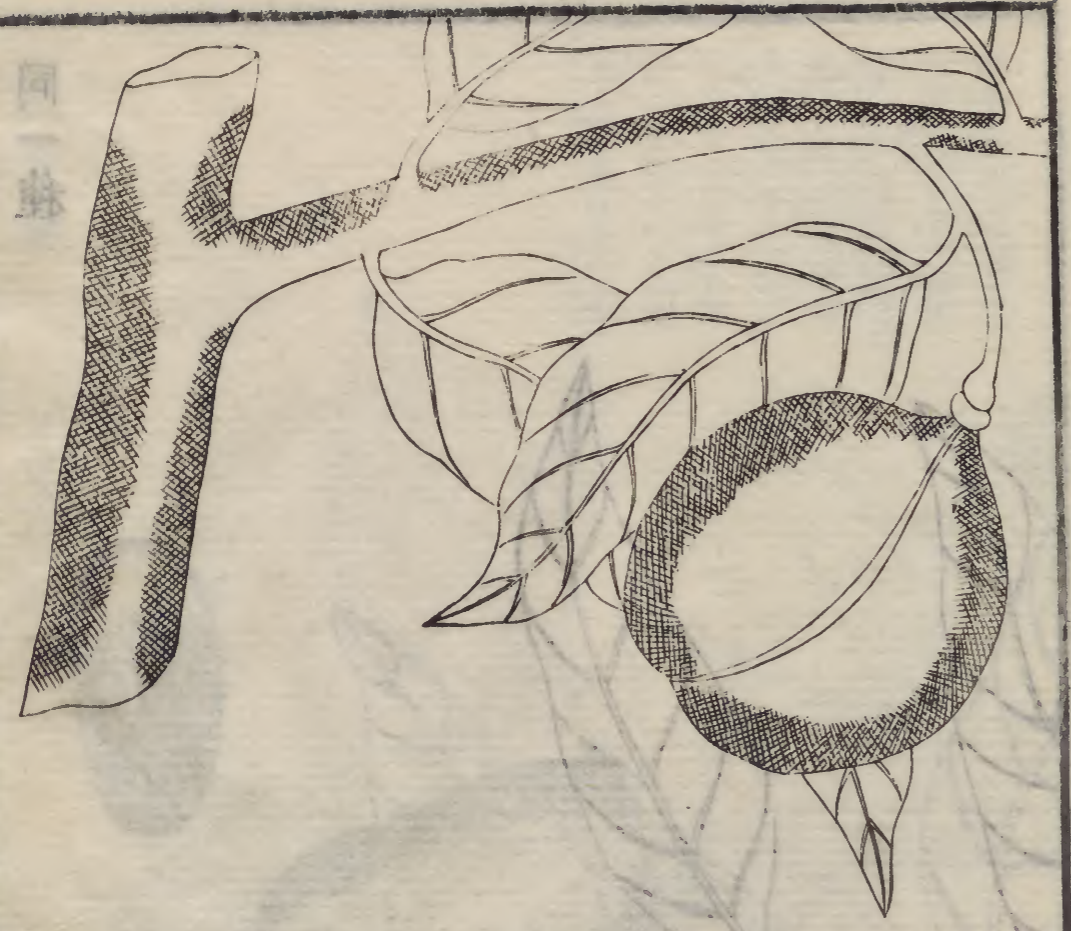
圓葉 瓠 瓠

肉豆蔻

ノートミユスカート荷

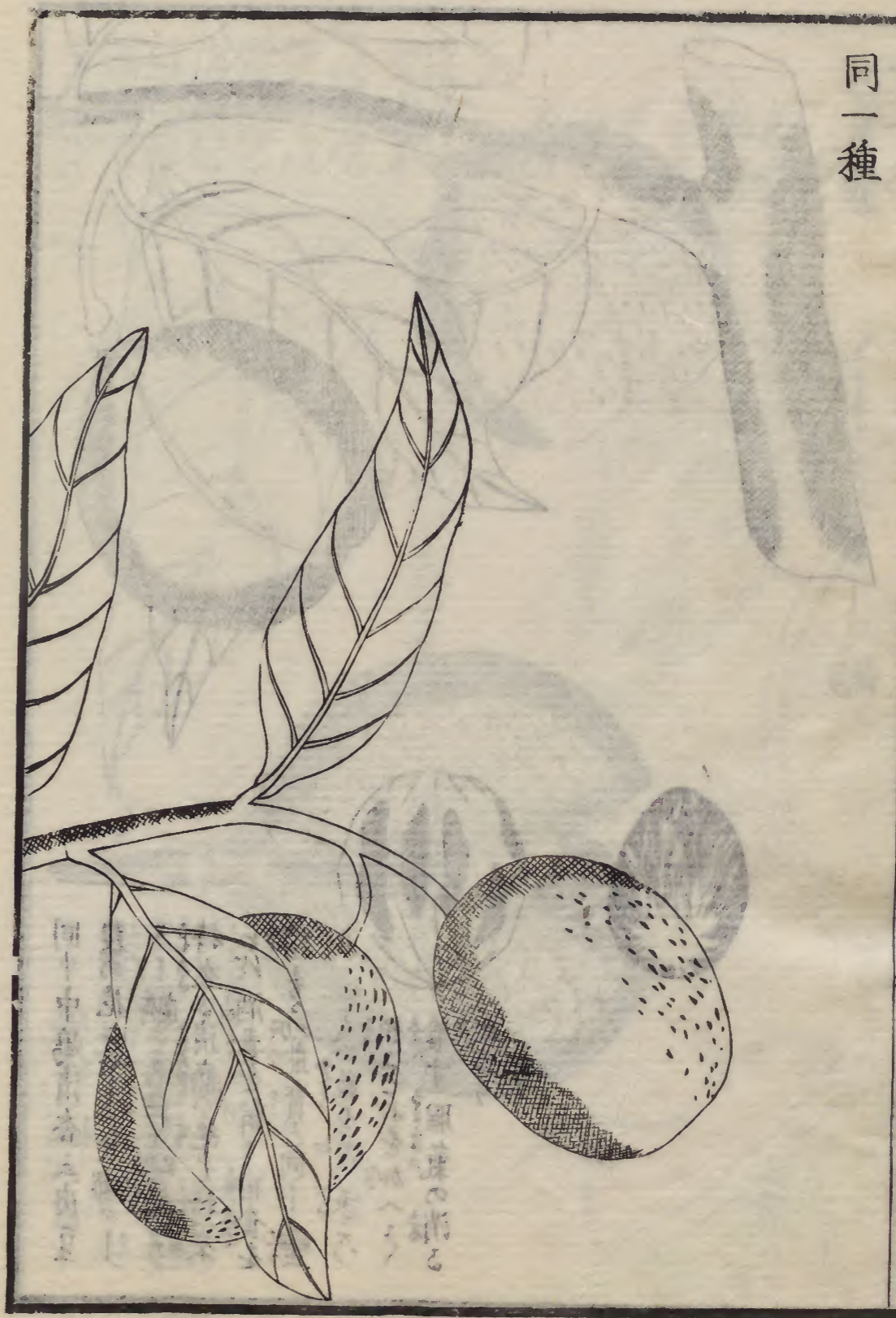


物印忙の圖なり時珍の
説は顯外有皺紋而内有
斑縵紋如檳榔紋と云是
なり又舶来の物此圖と

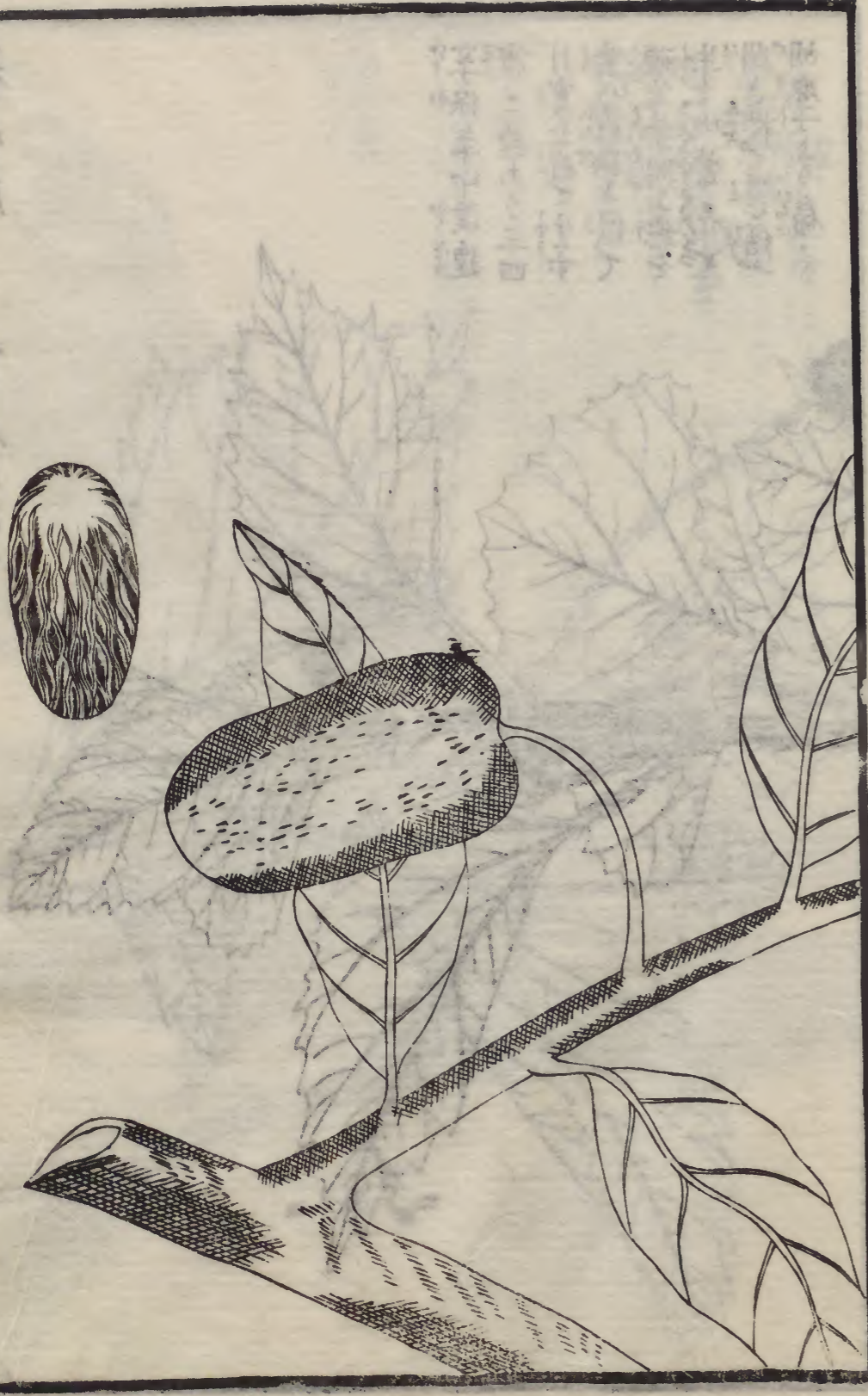


同ト中嶋清香云肉豆
蔻の花をマニスス羅フ
リリ蘭と名づく蠻船あり
持来る清商ハ絶て持來
らば酒毒を解一宿食を
消去功能實一同一蠻
人の雞を蒸承ろ
類よこれを加へく
食す腥氣の消る
故る

同一種



柑 實の形也
中葉の者之類也



柑 實の形也
中葉の者之類也

新實也

又云

補骨脂

とらんだびり

享保年中漢種
渡る二種あり三四
月實を植て生ず
葉の苧麻に似て
硬く葉間上穂を
生ず小紫花を
開き従て実を結
胡麻子より扁く



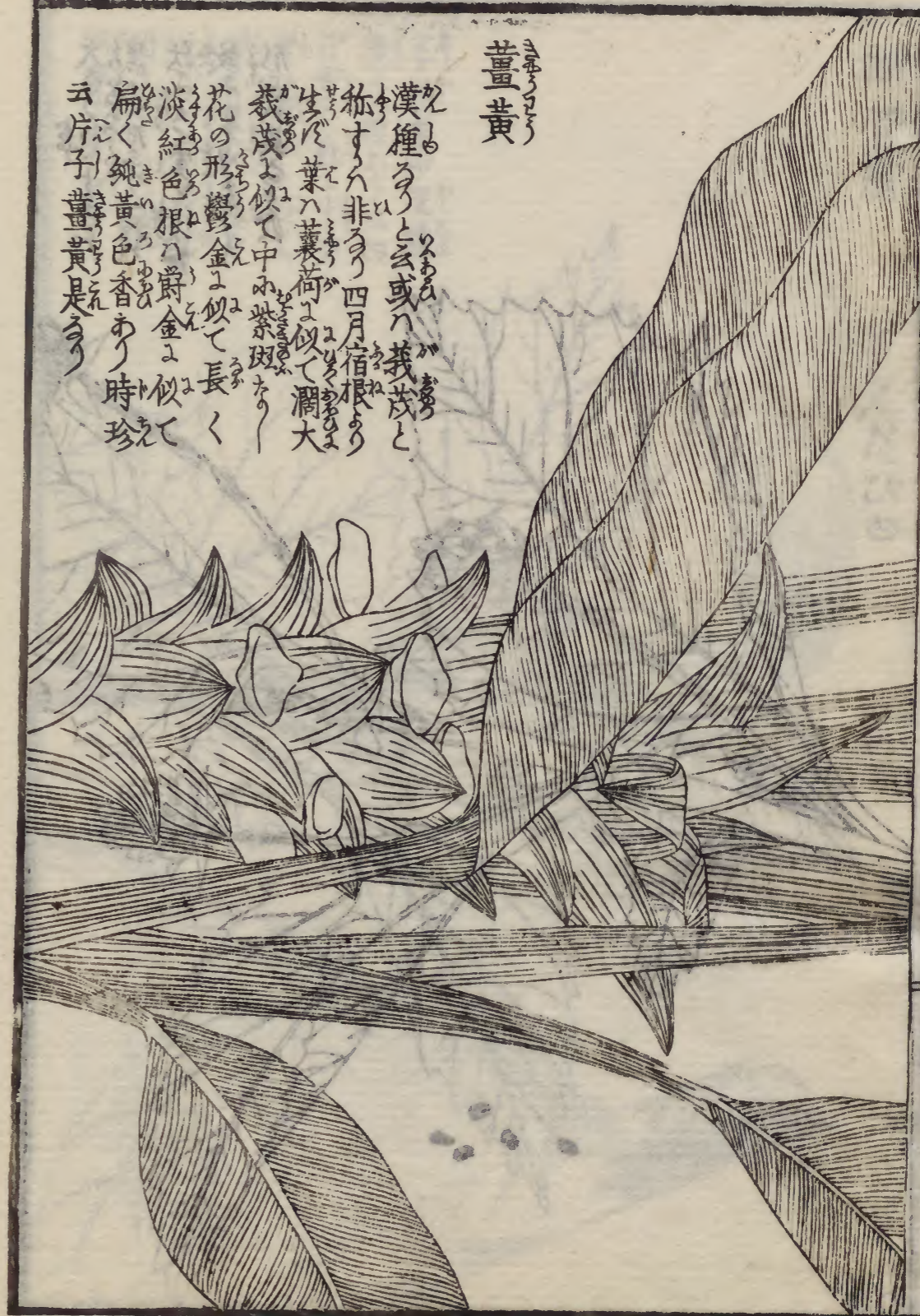
大分熱すまふ
黒色油多一種
杜よて実を結
故に実少あり
形状異なる



本草綱目 卷之九 薑黃

薑黃

漢種るると云或ハ莪茂と
 稱すハ非る四月宿根より
 生テ葉ハ莖荷に似テ潤大
 莖茂に似テ中ハ紫斑あり
 花の形鬱金に似テ長く
 淡紅色根ハ鬱金に似テ
 扁く純黄色香あり時珍
 云片子薑黃是也



キニルキニマ 羅甸
 インデアーンセ サフラン 和蘭



本草綱目 卷之九 薑黃

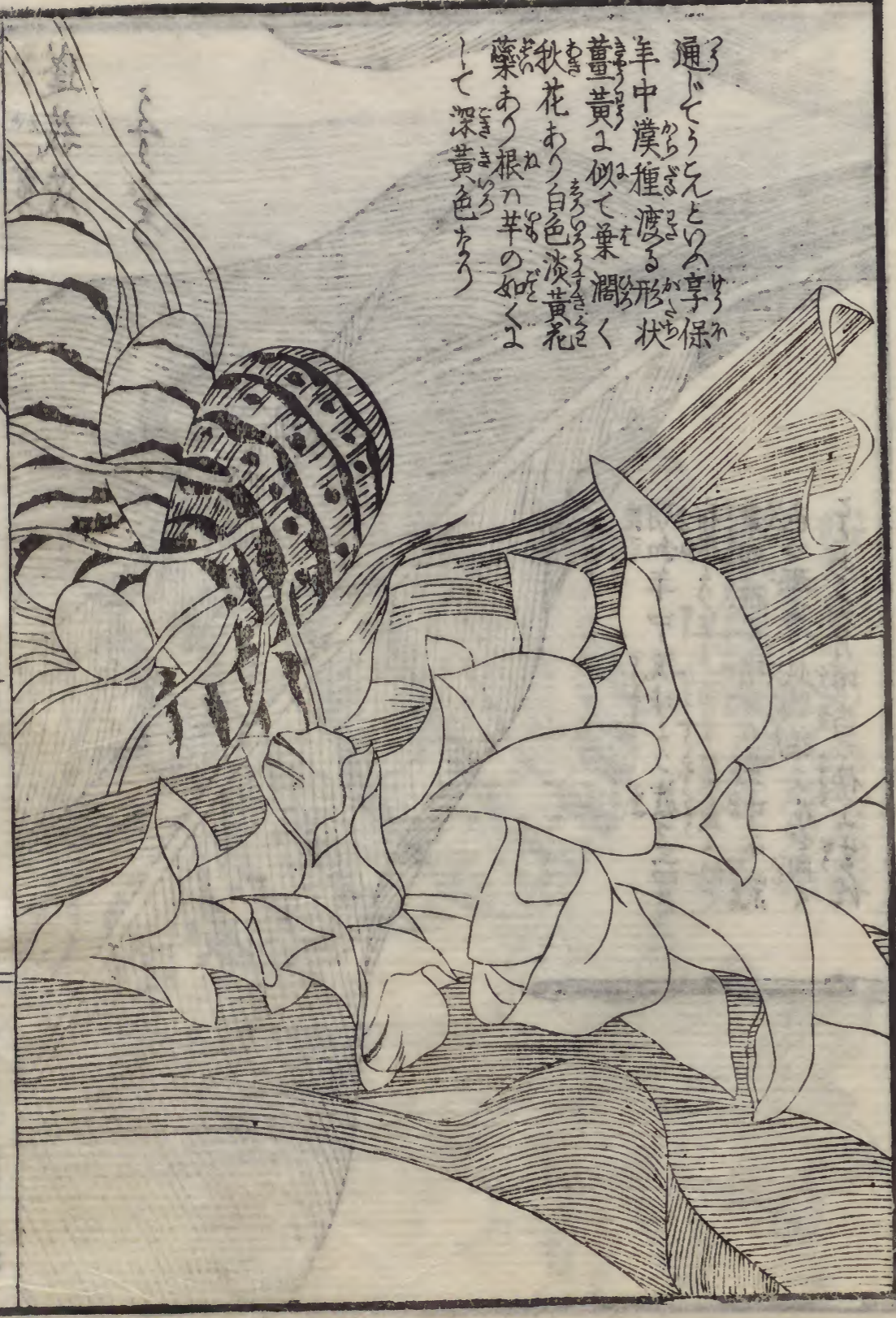
本草圖考 卷之九 三十一 澤園 昆 苑

鬱金

きざめいそ



通しとらんとしん亭保
羊中漢種渡る形状
薑黄より似て葉潤く
秋花あり白色淡黄花
薬あり根の草の如くよ
して深黄色なり



本草圖考 卷之九 鬱金 三十一 雜園 明 苑

本草綱目 卷之九

蓬莪茂

ふりふり



明和年中琉球より渡り三四月
宿根より生ず苗葉薑黄に似て
葉頗狭長稍硬く葉中小紫
色の斑あり此物稀に花を開く
ことあり六月頃苗の傍に生ず

形爵金花に似て紅色黄葉
あり根芋に似て外皮黄褐
色肉淡青褐色なり

本草綱目

卷之九

蓬莪茂

三

雜類綱目



本草綱目 卷之九 三枝 荆三枝 根



荆三枝
みくら
和名

鬼水澤中あり
宿根あり
三枝あり葉ハ莎草
長大莖あり二三尺
小似て三方へ分る根ハ
似て硬く黒色三四塊
器説とろの黒三枝
本草の黒三枝と云
わねかやほろ河邊
長ありて瘠小曲りて
れ釋名の草三枝
爪三枝救荒
本草ノ菝葜
根ミ同物ナリ



わねかやほろ

本草綱目 卷之九 三枝 三枝 根

本草綱目 卷之九 三十四 潜園隱菴



一種

かむ

下野那須郡
蘆野村水澤
中ノ郷香蒲
兼似て肥太
と剣脊あり
高三四尺穂を
はたて枝を余り小穂を
族生し黄白色穂の下
経實を結ぶ形楕円の
知し根は三四塊あり
慈姑の如く皮黄黒色
肉白色は蒲須説の
淮南紅蒲根より



本草綱目

卷之九

かむ

三十四

潜園隱菴

本草綱目 卷之九

莎草香附子

本草 和名



海邊或ハ田野亦あり宿根
似高七寸夏月穂を
似る高き七寸夏月穂を
似る高き七寸夏月穂を
似る高き七寸夏月穂を
似る高き七寸夏月穂を

一種

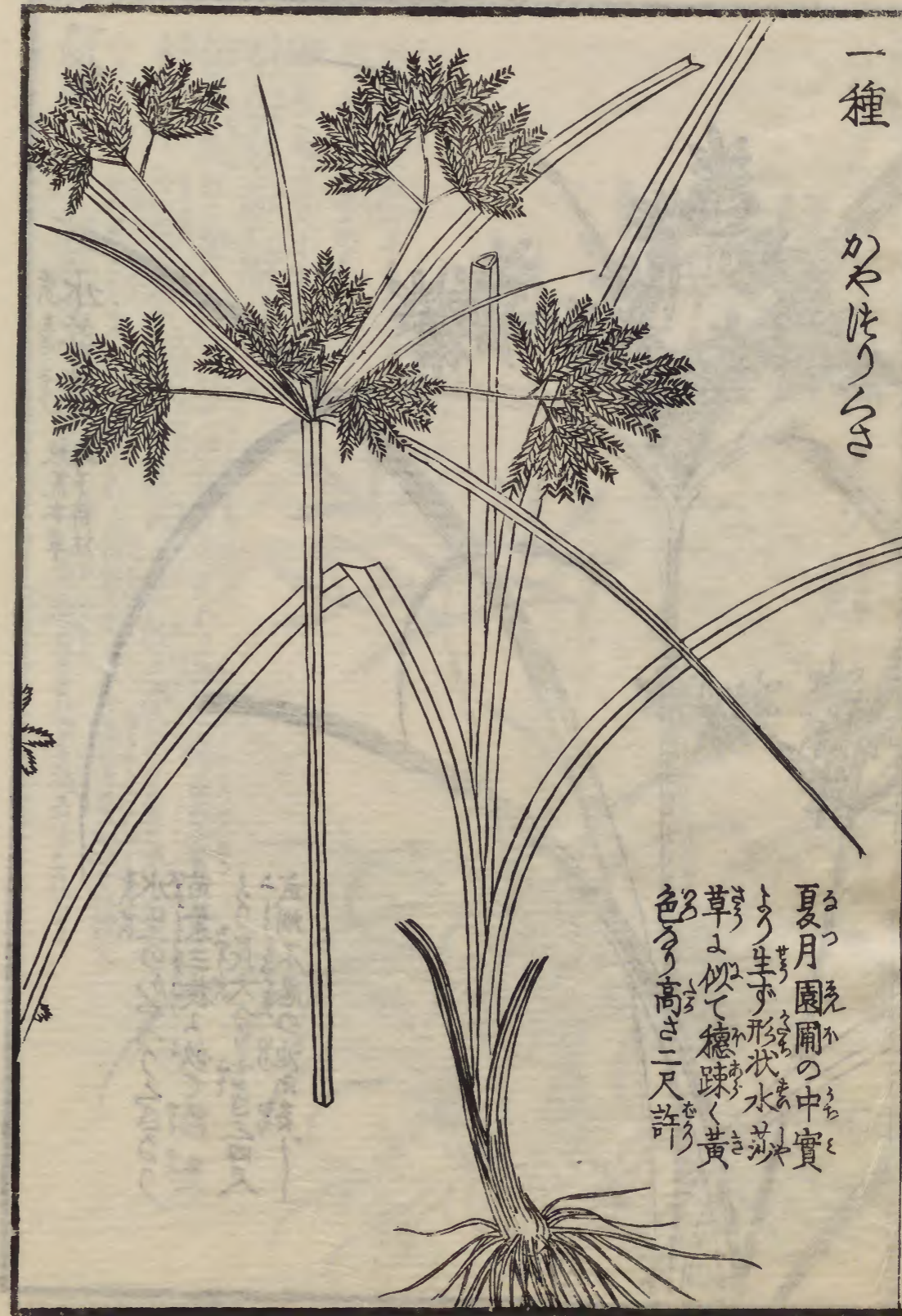
水莎草 故荒本草 傳子苗注



水生のかやつらさうり
苗葉三稜より似て陸生
より長大なり三四尺
武州不忍の池に多し

本草綱目 卷之九 莎草香附子 水莎草 三三六 薤圓胡葳

一種 かやしのさき



夏月園圃の中實
より生ず形状水
草に似て穂疎く黄
色多し高さ二尺許

一種

陸生ゆへ苗短く
高さ三四寸穂の葉の
中央の生れと疎し



苗葉三稜に似て穂の香附子の如く
甚密ゆへ黄色高さ
二尺許水邊に
生ず

本草圖譜

卷之九

かやしのさき

三七

陸生園圃

一種



水邊に生ず高さ
一尺許一根本葉と
あり莖頭各三葉を
半黒色を帯ぶ

一種

多葉
苗小あり物

一種

かづげん

苗葉たせきまろふに似て扁く穂のちを井に似たり



本草圖譜 卷之九 三十一 蒲 蔞

一種

苗小くして
穂ごとく品
字をるを
のたり



本草圖譜卷之九終



椿齊 岡田清福 模寫

